

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事:柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2016 October 26

■ 2016～2017年度方針

ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.16

## 例会報告

- 第2149回例会 平成28年10月26日(水) 晴
- 10月は経済と地域社会の発展・米山月間
- ロータリーソング 四つのテスト

●出席報告 会員 104 (91) 名中 出席59名

出席率64.84% 修正出席率80.00%  
(10月12日分)

## ●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

王立ブノンペン大学 日本語科 パーチ・ムイキアさん

## ●ニコボックス

「今日の私のゲストは、カンボジアンビューティーの「明日香」です。おどりを覚えて下さい。」

加藤重和君

「お陰様で好天に恵まれ、第四回WFFも大成功に終わることができました。皆様のご協力・ご支援に実行委員会を代表しまして心から御礼申し上げます。ありがとうございました。」

WFF実行委員会 副委員長 福田哲三君

「本多さん、黒田さん、インドネシアのメンバー10人とフィリピンからのメンバー10人を連れて犬山観光ツアー、ありがとうございました。また榎野さんもミニS.Lの運行管理のお手伝いありがとうございました。さらに、加藤一郎さんも、写真班としてご活躍、ありがとうございました。」

福田哲三君

「今年も、「日展四科」に入選しました。」 鷲塚貞長君  
「10月22日(土)名古屋港ガーデンふ頭に於いて第2回名港水上芸術花火大会を天候にも恵まれ、音楽と花火のマリアージュ・グレートスカイアートを13,000発の花火で秋の夜空を飾る事ができました。協賛いただいた皆様、ご来場いただきました皆様、有り難うございました。」

二村伝治君

「先日のWFFの後のリビエールでの飲み会は大変楽しかったです。稲川さんにお世話になりました。」

加治佐健二君

本日のニコボックス 6件 15,000円  
累計 71件 541,000円

## 柏木博喜幹事報告

▽11月のロータリーレート

11月のロータリーレートは、1ドル102円です。

▽当クラブ行事予定

- ・10月26日(水) 本日例会終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

- ・11月9日(水) もみじ夜間例会、場所はか茂免です。時間は18時～です。

※自家用車でのお越しはご遠慮ください。

※11月9日(水)ウェスティンナゴヤキャッスルでの例会はございません。

- ・11月23日(水) 祝日のため、休会です。

- ・11月30日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

11月30日(水)、クラブアッセンブリーのご案内を配布しております。

## 高木一平会長挨拶

### “物作りに対する尊敬と対価”

少し前に総務省の指導で携帯電話会社3者の合意の元、端末料金の0円設定が終了しました。端末料金を0円とする代わりに月々の使用料金を操作して長い眼で見て端末のコストも回収できるというプランが終わりました。

今までの0円設定はイニシャルコストを支払えない若年層には確かに福音だったでしょう。しかし私は随分前からこの0円料金設定に大きな違和感を持っていました。携帯電話一つ開発し、製品化するためには膨大な資金が必要なことは誰でも分かります。端末は技術者の叡智と苦勞の結晶です。端末を改めて手に取ってみ

るとこれをいとも簡単に名目0円で手に入れるのは不遜極まりないことに思えてきます。

日本は物作りの国、職人の国です。精巧無比な工業製品を長年に渡り生産して世界中から尊敬されてきました。その我々が日本の物作りを無視するような料金設定をとることは自己否定になりかねません。

私の考え方は神経質に過ぎるでしょうか?このことを以前ドコモの営業の偉い方とバーで隣同士になった時に議論したことがあります。彼は「あなたの気持ちも分かるがとにかく売れなくては何ともならないし、他社との競争もあるので自ずと端末料金が安くなるのは避けられない」と言います。私はさらに拘り、「ならばイニシャルコストを払えない人には端末料金をしっかり設定した上でそれを分割して使用料金に別明細で上乘せすれば済むことだ」と返しました。つまり形の上だけでも物作りへの対価だけは明確にしておきたかったのです。

たしかにトータルで必要なコストを回収できていれば経済活動としては問題ない、細目はどうでも良いと言う方も多いでしょう。しかし何に対してどれだけ対価を払うかが明確であるからこそ真の物の価値やサービスの価値が分かるというものです。物作りのありがたさを認識するために、携帯端末には少なくとも何万円かの価格設定をすべきです。これは日本の物作りを支えるささやかな精神的サポートになるはずです。

## 卓 話

### ホームステイプログラムに参加して

(前半、加藤卓話)

今日は、特別に、カンボジアンビューティーを連れてきております。

この子の名前は、「パーチ・ムイキア」と言って、王立プノンペン大学の日本語学科3年生になったばかりです。

現在、当社の「二週間ホームステイプログラム」で、幸田町の農家に、ホームステイしております。

このプログラムは、6年前から、毎年実施しており、その主旨は、日本の小学校、中学校での学習体験です。

日本の子供たちと一緒に、毎日授業を受け、給食を食べ、部活に参加して、日本の教育レベルを実感し、さらに、その教育システムを知ってもらおうと言うものです。

この貴重な体験を、カンボジアに持ち帰り、地元の子供教育に、大いに役立ててもらおうと言うのが、目的で、観光などの遊びは、ほとんど含んでおりません。

ムイキアが、今年のホームステイプログラムに当選したいきさつを、話しておきます。

プノンペン大学に、案内と応募要領を公開したのは、今年の2月です。

実施の5か月前に当選者を決めてしまうのは、その後

の、パスポート取得などに必要な賄賂が、間際になるほど高くなるからです。

今年からは門戸を広げて、2年生でも良い事にしました。

ただし、日本語会話能力が、N3以上と言う条件も付けました。

大学側で、多くの応募者の中から、最終2名に絞り、最後は、私と、大学の担当教員との話し合いで、ムイキアが決まったわけですが、これが決まるには、決定的な理由が、二つありました。

このプログラム当選者に課せられる義務として、10月のステイ終了後、帰国して、当社の小学校で、子供対象の日本語教室の先生をやると言うのがあります。

この子は、2月に、案内が公開されてすぐ、昨年の当選者である留美子にくっついて、毎週、この小学校に通い、日本語教室を手伝い、5月の時点で、すでに、自分の教室を一つ持っていたと言う、まさに、動かざる実績を作っていました。

これが、最大の理由です。

さらに、もう一つは、最後の段階で、数人の先輩、後輩、同僚から、ぜひムイキアを、と言う、嘆願のメールが寄せられた事です。

この当選が、本人に伝えられたのは、5月25日の夕方、この翌日、26日は、朝から、新しい校舎の竣工式があり、ここで、在校生代表の謝辞を述べると言う大役が、突然訪れたには、本人もビックリしたでしょうけど、徹夜で原稿を作り上げ、無事にスピーチをこなしてくれました。

先ほどお話ししましたとおり、この子供たちは、毎週、田舎の小学校で、日本語を道具にして、子供たちの情操教育を行っています。

学用品とか、消耗品とか、子供が喜ぶお菓子とか、オモチャなど、彼らは、自分たちのバイト代の中から、まかなっております。

そこで、少しでも、彼らを援助する意味で、今日は、募金箱を回させて頂きました。

それでは、ムイキアに、自己紹介と、今日は、募金のお礼として、カンボジアの伝統的な踊りを披露してもらいます。

(後半、明日香)

私は、カンボジアからまいりました、パーチ ムイキア、申します。

私の名前は、生まれたとき、テレビで「ムイキア」という歌が流れていたそうで、私のお母さんが、この名前をつけました。

そこにいるお父さんからは、日本人の名前もつけてもらっていて、日本では「明日香」です。

私は、王立プノンペン大学の、外国語学部、日本語学科の3年生になったばかりです。

今年の5月に完成した、お父さんが作ってくれた、新しい3階建ての校舎で、毎日、一生懸命勉強しています。

今回は、お父さんの会社が、毎年やっている「ホームステイプログラム」に当選して、私は、あこがれの日本へ来ることができました。

今、こうして、ロータリークラブの皆様の前でご挨拶させていただける事に、本当に感謝（かんしゃ）しております。

また、先日（せんじつ）は、星ヶ丘（ほしがおか）の、近藤（こんどう）先生の病院で、生まれて初めて、健康診断（けんこうしんだん）をしていただきました。

日本は、第二次世界大戦での敗戦後（はいせんご）、わずか50年で、世界の頂点（ちやうてん）に立（た）った、すごい国ですから、私は、その日本で、多くを学びたいと思っています。

これからのカンボジアの発展に、一番必要なのは、やはり教育です。

ポルポト時代に、カンボジアの知識人や教育者は、みんな殺されてしまって、今も、その影響で、教える側の、先生のレベルは、とても低く、特に、田舎の方に行くほど、ひどいです。

今日、ここへ連れてきていただいた、「私のお父さん」が、6年前、コンポンチャム州の、田舎（いなか）に建てた小学校で、毎週、子供たちの日本語教室を開催（かいさい）していますが、私は、そこで、日本語の先生役（せんせいやく）として、今年の2月から、アルバイトをしています。

そこでは、日本語だけでなく、子供たちが、日ごろ教わる事のない、絵とか、音楽とか、踊りとか、も教えています。

また、ゴミを拾う事とか、手を洗う事も、教えています。

今回の、二週間の日本ホームステイは、私にとって、実に画期的な体験です。

私は、今月の20日から、幸田町（こうだちょう）の、田舎のお宅にステイして、その小学校や、中学校や高校に通（かよ）って、大勢（たいせい）の日本の子供たちと一緒に、朝から晩まで、すばらしい毎日を通（す）ごしています。

11月3日の帰国（きこく）まで、しっかり勉強して、先進国（せんしんこく）である日本の教育システムを知り、その良いところを、カンボジアに持ち帰り、子供たちの教育に、しっかり生かしていきます。

最後になりますが、私は、子供のころから、ダンスが好きで、習いたかったのですが、家の生活が大変だったので、それはかないませんでした。

これから、皆様の前でご披露するのは、カンボジアの伝統的な踊りです。

練習時間も短かったのですが、間違えるかもしれませんが、たぶん、分からないと思いますから、自信を持っ

て踊ります。

大勢の前で、カンボジアの伝統的なダンスをするのは、初めてです。



#### ●第4回理事会（平成28年10月26日（水）例会終了後 ウェスティンナゴヤキャッスル）

- ・野田俊幸君退会の件
- ・その他

#### ●11月度誕生日祝福

会 員	ご 夫 人
柏木順壺 君(11月1日)	須賀邦一郎 夫人(11月5日)
南 喜幸 君(11月2日)	本多國泰 夫人(11月6日)
中浜明光 君(11月5日)	吉田正道 夫人(11月6日)
野田俊幸 君(11月9日)	長澤功雄 夫人(11月7日)
佐藤公俊 君(11月10日)	石川雅道 夫人(11月8日)
上村晋也 君(11月11日)	林 邦司 夫人(11月17日)
長谷川通雄 君(11月15日)	近藤東臣 夫人(11月28日)
的場武史 君(11月15日)	野田俊幸 夫人(11月28日)
柏木博喜 君(11月19日)	
内藤博文 君(11月19日)	
内間三好 君(11月21日)	
鷲塚貞長 君(11月27日)	

例会	月日	今後の予定
第2150回	11. 2	中村公彦国際ロータリー第2760地区 ロータリー財団委員長（名古屋名東RC） 「ロータリー財団100周年を迎えて」
第2151回	11. 9	もみじ夜間例会（18:00～か茂免） （お昼の例会はございません）
第2152回	11. 16	会員 國分孝雄君 「リオ・オリンピックに参加して」

○このウィクリーは再生紙を使用しております。



## ガバナーメッセージ

Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

ガバナー 服部良男

ロータリーの戦略計画

### ～ブランド・マーケティングと

### ワールドフード+ふれ愛フェスタ～

世界のロータリアンの会員数が横ばいであり、先進国は減少し続けています。もし、自社の売上が右肩下がり減少し続けているとき、経営者は何をすればいいか？

この課題に国際ロータリーは戦略計画を明確にしました。それがブランディング、ブランド・マーケティング戦略です。

ロータリーのブランドは、ロータリアンでない人びとも理解出来るロータリーの価値のことでなくてはなりません。

コンサルタントがそれを調査して、ロータリーのブランドが明確になっていないことが分かり、それをもとに戦略計画を策案しました。最初にロゴを一新し、“ROTARY”を明確にしました。戦略計画は以下のステップになります。

#### 1. ブランドを明確にし、再認識する。

Fellowship (親睦)

Integrity (高潔性)

Diversity (多様性)

Leadership (リーダーシップ)

Service (奉仕)

#### 2. ブランドを世界の120万人を超えるロータリアンと共有する。

全てのロータリアンがブランドの再認識するツールとしてMy Rotary, Club Central の使用の推進

#### 3. ブランドを使ったサービスを再構築 (Re-engineering) して、再びポジショニング (Re-positioning) する。

ブランドとは人の理解で成り立つ価値です。したがってそれをロータリアンの奉仕活動を通じて、人々の心の中に残す活動、すなわち人道的奉仕活動によってそのブランドは輝き、人々も認識し理解してくれます。

人道的奉仕活動とは、困っている人がいたら積極的にかかわり、その人を笑顔にする活動です。困っている人が多い分野というのが、ロータリー財団の6つの重点分野（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）です。また見直しもされますが、この分野に資金と奉仕活動を集中させることがブランディングとして重要なことだと思います。

そしてもう一つ最も人びとの心の中に残ることは、いうまでもなく最終章をむかえた「ポリオ撲滅」です。

#### 4. マーケティング：

ブランドを使った、人道的奉仕活動を既存のメディアだけでなく、ソーシャルメディアを積極的に使って、ロータリーの認知度の向上と公共イメージの向上を目指すマーケティング戦略をスタートさせました。

今年度その一つが10月24日にアトランタで行われる「世界ポリオデイ」ですし、当地区では、今年第4回になるワールドフード+ふれ愛フェスタ通称「WFF」です。まさに、国際ロータリーの戦略計画を地区にあてはめた、先進的な取り組みだと思います。

多くのロータリアンがこの「WFF」に参加して、ロータリーのブランドを再認識し、そして地域の人びとに伝え、将来のロータリアンを見つけましょう。